

プラザにおいて、千葉若者キャラセンターや「ジョブカフェ千葉」の開催など、関係機関と連携を図りながら雇用対策に取り組んでいる。さらに、茂原にいはる工業団地造成事業の早期実現に向けて県に働きかけるなど企業誘致を推進し、今後も働く場の確保に取り組んでいきたい。

基幹事務の電子化の現状と将来計画について

問　国は基幹事務のサービ

加賀田 隆志 議員
(公明党)

その他の質問事項
・市長の政治姿勢について
・防災行政無線再確認ダイヤルについて
・地域公共交通会議について
・小中学生に「話すコミュニケーション」教育の必要性について

り、来年度以降の生産減が懸念されているところであるが、今後も引き続き地元雇用の確保について要望したい。

本市の住民基本台帳、税、介護、国保等の基幹系システムについては、委託業者のデータセンターと接続し、一部システムの共有化をしていることから、クラウド的になつてている。今後は21年度から6道府県66市町村で実証実験が行われているので、その動向を十分注視し、調査・研究を進めたい。

また、株式会社IPSアルファテクノロジについては、10月1日の地位承継に伴い、パナソニック液晶ディスプレイ株式会社に社名が変更となつた。生産状況については、現在もフル生産が続いているが、これまでどおり雇用の確保がされている。今後は国の家電工コボイント制度の終了によ

り、来年度以降の生産減が懸念されているところであるが、今後も引き続き地元雇用の確保について要望したい。

地方自治体がネットワーク上のコンピュータを共同利用して行政事務を行うクラウドコンピューティングの検討を進めており、来年度の予算要求においては、全国的な連携基盤の整備に係わる実証実験等の要求がされてい

るとしている。この実証実験等により各自治体固有のシステムのパッケージ化が進めば、多くの自治体参加による経費の削減が図られると言われており、期待をしているところである。

ス向上、経費削減からクラウドコンピューティングシステムの導入を加速させている。クラウドとは雲を意味し、その先にある共通の電算システムを利用するため、経費が極端に少なくできる。市の現状と将来計画について伺いたい。

答　現在、総務省において

田丸 たけ子 議員
(公明党)

その他の質問事項
・基幹事務システムリソースの使用状況について
・電算等に伴う専門家の育成について
・茂原市の基盤整備の現状と今後の計画について(環境・情報・福祉・教育・道路・公共施設)

金の交換が年々増加している状況である。また、リフォームについても老朽化に伴い多額な費用が必要となり、計画どおりの募集は難しい状況であるが、入居希望者も多いことから、今後はリフォーム費用の予算確保に努めていきたい。

市営住宅の整備計画について

問　真名市営住宅は老朽化が著しいため、政策的に平屋建てに住み替えを推進すべきである。又新規入居希望者の要望に応え補修予算を拡充すべきである。さらに、市営住宅の将来構想を考える市内検討会議を立ち上げるべきである。が、ご見解を伺います。

答　真名市営住宅の2階建ては昭和46年4月から約40年が経過し、老朽化が進んでいる状況である。平屋建てへの住宅移転の要望については、高齢者の方などから相談がある場合には個別事情を聞き、なるべく希望に添うように対応しており、今後も高齢化が進む中、このような方が増えてくることが想定されるが、その際にも今まで通り細やかな対応をしていきたい。

市営住宅の新規募集については、月1回程度の計画を立てているが、市営住宅の老朽化が激しく、雨漏り補修や風呂

問　本市の住民基本台帳、税、介護、国保等の基幹系システムについては、委託業者のデータセンターと接続し、一部システムの共有化をしていることから、クラウド的になつてている。今後は21年度から6道府県66市町村で実証実験が行われているので、その動向を十分注視し、調査・研究を進めたい。

問　国が検討中の「子育て新システム」は保育所最低基準の撤廃など現行制度を根底から覆す内容であり、関係者が酷評している。全ての子どもが豊かに育つ為に、保育を国と自治体の責任で拡充することが必要と考えるが、当局はどう認識し、対応するのか。

答　政府は現在、子ども・子

その他の質問事項
・土地開発公社の債務償還計画について
・子宮頸がん等のワクチン接種について
・安全安心のまちづくりについて

育て新システム検討会議において新システムを検討しておいて、2013年度からの実現に向け、来年の通常国会に連法案を出す予定で検討され

てある。しかしながら、この内容は検討会議での資料により公表されているもので、公式に県や市町村に示されたものではない。新システムについては、幼保一体化や子ども・子育て対策の財源の統一などこれまでと違った制度になり、修繕など維持管理に苦慮しているところである。今後、将来構想となる公営住宅整備計画等の検討会議を立ち上げ、策定に取りかかっていただきたい。

現在、管理している12住宅・789戸のうち約7割が耐用年数を迎える状況であります。修繕など維持管理に苦慮しているところである。今後、将来構想となる公営住宅整備計画等の検討会議を立ち上げ、策定に取りかかっていただきたい。

金の交換が年々増加している状況である。また、リフォームについても老朽化に伴い多額な費用が必要となり、計画どおりの募集は難しい状況であるが、入居希望者も多いことから、今後はリフォーム費用の予算確保に努めていきたい。

子育て支援について

平 ゆき子 議員
(日本共産党茂原市議団)

議案の概要並びに結果

予 算 関 係

◎平成22年度茂原市一般会計補正予算(第3号)

結果・可決(賛成多数)
〔内容〕歳入歳出予算の総額に

8億4622万2千円を追加し、その総額を257億9199万4千円とするものです。